

令和 7 年度
熊本県立大学 総合管理学部
自己推薦型選抜

総合問題試験

問 題

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
- (2) 問題冊子は、11 ページあります。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号および氏名を記入しなさい。
- (4) 問題は、全部で3問（問題1から問題3まで）あります。3問すべてに答えなさい。
- (5) 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- (6) 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- (7) 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は、持ち帰ってください。

試験問題は、5 ページからです。

試験問題は、5 ページからです。

試験問題は、5 ページからです。

問題 1 次の文章を読んで、以下の問 1 から問 3 に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

【出典】松岡亮二『教育格差——階層・地域・学歴』、株式会社筑摩書房、2019 年

問 1 (A)～(F)のカタカナを漢字で書きなさい。

問 2 本文の例を用いて、下線部①を 80 字以内で具体的に述べなさい。

問 3 下線部②について、どのような傾向が認められると考えられるかを 35 字以内で述べなさい。

問題 2 次の文章を読んで、以下の問 1 から問 5 に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

【出典】 OECD, Education GPS The world of education at your fingertips

<https://gpseducation.oecd.org/revieweducationpolicies/#!/node=41746&filter=all>

【注】

equity: 公平(性)

socio-economic status: 社会経済的地位。個人や家庭の社会的な状況を収入・職業・教育・文化的所有物等を組み合わせて評価したもの。

migrant: 移住者

hinder: 妨げる、じゃまをする

fairness: 公平(性)

inclusion: 包含、包括

imply: 含意する、意味する

inclusive: 包括的な

participate: 参加する、関係する

retention: 保留

dropout: 脱落

inequality: 不公平(性)、不平等(性)

mobility: 移動性、可動性

warrantees: warranties の誤植

warranty: 保証する、担保する

cohesive: 結合力のある

tertiary: 第三の

compulsory: 強制的な、義務的な

ensure: 確実にする、確保する

participation: 参加、関係

bias: 一方に偏らせる、偏向させる

attainment: 到達、達成

typically: 典型的に、一般的に

問 1 下線部①を和訳しなさい。

問 2 下線部②の単語の単数形を書きなさい。

問 3 下線部③は何を指しているのか、本文の単語を抜き出して書きなさい。

問 4 本文に即して、下線部④の理由としてもっとも適切な選択肢を以下(ア)～(エ)から選びなさい。

(ア) 誰もが自分の能力を伸ばし、社会に完全に参加するという人権を持っているから。

(イ) 公平性への投資は利益をもたらし、教育の公平性は質や効率性と密接に関係しているから。

(ウ) 教育政策と実践、教育制度の構造的特徴、教育に投下される資源とその配分方法、学習環境、生徒の生育環境、教育成果などは、すべて相互に関連しているから。

(エ) 成人学習への参加は、社会のより恵まれた構成員に強く偏っているから。

問 5 下線部⑤を避けるために必要とされていることについて述べている箇所を和訳しなさい。

問題 3 図表 1 から図表 4 は「令和 3 年『子供の生活状況調査の分析』報告書」に掲載されたデータである。これらの資料に基づいて、以下の問 1 から問 3 に答えなさい。

図表 1

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

図表 2

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

図表 3

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

図表 4

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

【出典】内閣府「令和 3 年『子供の生活状況調査の分析』報告書」

- 問 1 図表 1 および図表 2 において、等価世帯収入が中央値以上の世帯の中で「ひとり親世帯：全体」が占める割合（％）を求めなさい。なお、総数は 2,623 として計算し、解答は少数第二位を四捨五入すること。
- 問 2 図表 3 において、父親の学歴状況と等価世帯収入の水準の関係を、等価世帯収入の水準が中央値以上の割合に着目して、50 字以内で説明しなさい。
- 問 3 図表 4 において、等価世帯収入の水準に着目した場合に、希望・展望する進学段階を「高校まで」と考える理由のうち「お子さんの学力から考えて」と「家庭の経済的な状況から考えて」という二つの項目において読み取れる違いを 80 字以上 110 字以内で説明しなさい。